

## 課題

- 四国内での交通結節点である特急停車駅(特にJR四国管内において利用の多い予讃線)において、繁忙期や早朝・深夜の時間帯を中心に二次交通となるタクシーの供給が不足しており、駅からの交通の足確保が課題となっている。

## プロジェクト概要

- [交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)]
- 列車内および出発駅において、二次元コードをスマホで読み取り、専用フォームから到着駅でのタクシーを事前手配できるサービスを提供する。
- [モビリティ・データの取得と活用]
- 本サービスで把握できる、タクシー利用者の利用時間や目的地などを分析することで、鉄道とタクシーを乗り継ぐ利用者のニーズを把握し、利用促進につなげる。
- [地域交通政策等との連携]
- 本実証は、香川県・愛媛県の地域公共交通計画の下記施策に合致している。  
香川県地域公共交通計画(令和6年3月)
    - ・ 目標2 利便性の確保
      - ・ 施策2-3 交通モード間の結節性の強化
        - ・ - ③ デジタル技術等の活用
    - 愛媛県地域公共交通計画(令和6年6月)
      - ・ 目標3 サービスや運営の高度化
        - ・ - 事業名 MaaS等の新たなモビリティサービスの推進  - また、駅での鉄道からタクシーへの乗り継ぎニーズを把握することで、タクシー事業者の業務運営の効率化につなげる。

## 効果

- タクシーの供給不足で、到着駅で降りても駅前にタクシーがない状況を、デジタル技術を活用した事前手配により解決することで、お客様は安心して、鉄道からタクシーへ乗り継ぎを行うことができる。

## 事業の新規性

- R6年度実施した予讃線駅6駅(川之江駅、伊予三島駅等)に、新たな特急停車駅を加え、列車内と、新たに出発地の駅において、二次元コードを読み取ることで、タクシーの配車を可能にする。

## 事業エリア/交通事業

香川県・愛媛県／鉄道：JR四国予讃線、各停車駅のタクシー会社  
(高松駅、坂出駅、宇多津駅、丸亀駅、多度津駅、観音寺駅、川之江駅、伊予三島駅、今治駅)

## MaaSアプリ等

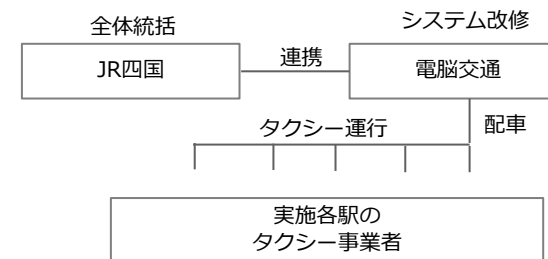
- 电脑交通DS(クラウド型配車システム)
- 电脑交通タクジット(タクシー手配フォーム)

## データの活用等

- データの取得方法：タクシーの利用日時、乗車駅、到着地(任意)
- データの活用方法：鉄道とタクシーの乗換ニーズの分析

## 座組

## スケジュール



4月～ 7月システム改修等準備

8月～12月 実証事業実施

1月～ 3月 データ分析  
成果とりまとめ